

ひとりの商人、無数の使命

伊藤忠商事のグリーン水素取組み

東京グリーン水素ラウンドテーブル

2025年7月14日

猪股 淳 執行役員 金属カンパニープレジデント



伊藤忠商事株式会社

当社事業概要



繊維カンパニー

ブランドビジネス、
素材・服飾資材・アパレル、繊維資材



エネルギー・化学品カンパニー

原油・天然ガス等のエネルギー開発・トレード、
化学品事業・トレード、
電力・環境ソリューション事業・トレード



住生活カンパニー

紙パルプ・天然ゴム等の物流事業、
木材・建材等の建設建材
事業、不動産開発及び運営



機械カンパニー

水・環境・電力等のインフラ事業、
船舶・航空機、
自動車、建機・産機



金属カンパニー

鉄鉱石・石炭・原子燃料・非鉄金属・
鉄鋼製品等の資源開発及び原料・
製品トレード、脱炭素関連ビジネス



食料カンパニー

小麦・大豆等の食品資源の調達、
Dole・不二製油等による製造加工、
中間流通、リテール事業



情報・金融カンパニー

ITサービス&BPO、通信・モバイル事業、
宇宙・衛星・メディア関連事業、
金融、保険事業、医療ヘルスケア事業



第8カンパニー

「マーケットインの発想」による
新規ビジネスの創出、
ファミリーマート等のコンシューマービジネス



当社の脱炭素社会実現に向けた主な取組み



- 当社の商売は、商品ありきのプロダクトアウト型ではなく、マーケットインの発想でお客様のニーズを捉えて事業を拡大していくことが基本。
- 本業のトレードや事業投資を通じバリューチェーン全体のGHG排出量を削減し脱炭素社会実現に貢献することが、当社自身の持続的成長と企業ブランド価値向上に繋がると考えており、今後も環境と経済の好循環を生み出すSDGsビジネスに取り組む。

再エネの基幹エネルギー化 ゼロエミッションビルの拡大

- ・国内外での再エネ・EfW事業の展開
- ・系統用蓄電池事業
- ・CO₂を使用した建設用資材等製造事業推進

ゼロエミッションモビリティ の推進

- ・福島・本宮水素ステーション
- ・航空機向け水素燃料電池エンジン
- ・船用アンモニア燃料 サプライチェーン構築
- ・航空会社向け持続可能な航空燃料(SAF)の展開

水素・アンモニアエネルギー の普及拡大

- ・海外での水素事業取組み
- ・九州北部水素・アンモニアサプライチェーン
- ・海外アンモニア製造案件

サーキュラーエコノミーへの移行

- ・国内外のスクラップ事業推進
- ・リサイクルナイロン漁網開発・展開

ゼロエミッション実現を支える 基盤づくり

- ・還元鉄・鉄鋼業脱炭素化の取組み
- ・日本海側東北地方CCS事業
- ・排出権関連の取組み

デンマーク Everfuel社への出資案件概要

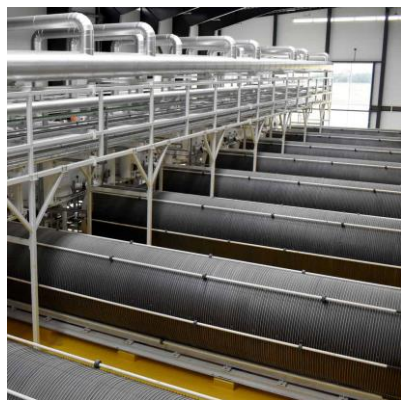
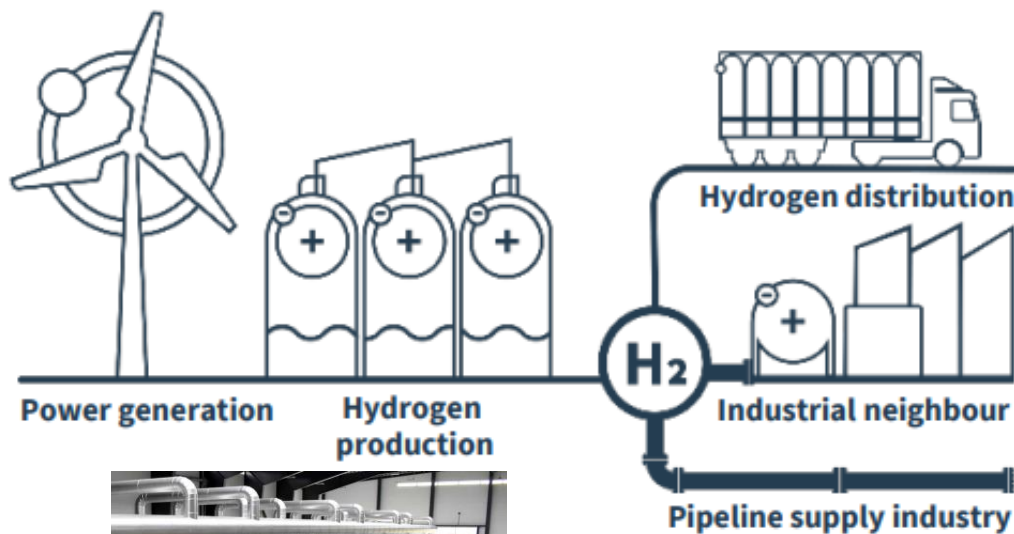


➤ 2024年2月に、大阪ガスと設立したHyVC社を通じて、Everfuel社の株式を取得。

会社名	Everfuel A/S Everfuel 
本社所在地	デンマーク ヘアニング市
設立年	2017年(Nel社の水素製造配給部門として設立)
業態	グリーン水素のバリューチェーン構築 (水素生産設備・輸送機器・水素ステーションの設計・EPC及び運営、 モビリティ分野・産業分野への水素販売)
主要株主	E.F. Holding社(創業者グループ) Swiss Life Asset Managers社(スイスのペンションファンド) HyVC社 Hy24社の水素ファンド
今後の 事業方向性	水素製造第1号案件(HySynergy 1) の操業最適化 Offtaker向け供給・トレーラー輸送の拡張 パイプライン接続・欧州域内外への事業展開

Everfuel社の水素バリューチェーン

- 再エネ電力の価格競争力（デンマークのグリッドで90%超の再エネ率）。
- 現時点で欧州最大級（20MW）の水素製造キャパを保有。
- 販売先は3パターン。
 1. 隣接する産業向け水素
 2. 大型モビリティ（トラック・バス）向けの供給（水素ステーションを保有）
 3. パイプライン接続による国際輸送（European Hydrogen Backbone）

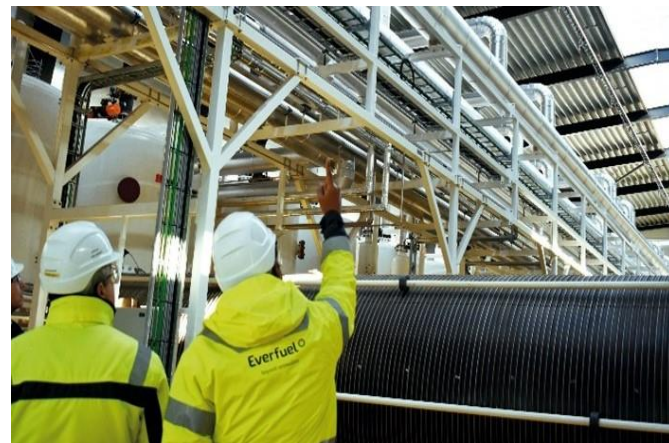


出典: Everfuel社HP

出典: State of Green HP

Everfuel社の水素製造プラント (HySynergy 1)

- デンマーク・フレデリシアに、Everfuel社の第1号水素製造プラント、“HySynergy 1”にて2025年2月水素製造開始。
- Nel製のアルカリ水電解装置 (20MW) を導入。
- 水素生産量はフルキャパシティで年間約3千ト。大半は隣接する製油所 (Crossbridge Energy) による引取、残りは自社のローリーで水素ステーションへ輸送、モビリティ向けの供給。



その他の当社水素関連取組み

【福島県本宮水素ステーション】

- 日本エア・リキード、伊藤忠エネクスとの協業により、福島県本宮市に「エア・リキード本宮IC水素ステーション」を2024年5月に開業。
- 伊藤忠エネクスグループのエネクスフリースのガソリンスタンドに併設され、24時間年中無休、大型商用車に対応。



【英国グリーン水素製造 Protium社】

- 地産地消のグリーン水素製造を行う英Protium社に出資。
- 産業・輸送分野の顧客の工場敷地内や近傍で、再エネ調達から水素製造まで一貫した脱炭素ソリューションを提供。伊藤忠は日本・アジア展開を目指す。



【航空機用水素エンジン ZeroAvia社】

- 航空機の水素燃料電池エンジンの開発を進める英・米ZeroAvia社へ出資、提携。インフラ構築を含む航空脱炭素を推進。
- 19席クラス航空機の実証に成功。2026年中に認証取得し、2027年の商用化を目指す。70席クラス向けエンジン開発も着手済みで、2028/9年までの認証取得・商用化の計画。
- 伊藤忠はアジア域の販売代理・保守整備・空港水素インフラ構築をZeroAvia社と共同で推進。



水素・アンモニア・e-fuelに関する当社の主な取組み

